

事務事業名	特定地域生活排水処理施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課																											
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	浄化槽G	課長名	足立 純一																										
	施策名	〈15〉下水道の整備		担当者名	松林 李樹	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4611																										
	目的対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。			予 算 科 目	<table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>款</td> <td>大事業</td> <td>大事業名</td> <td>特定地域生活排水処理施設管理事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>目</td> <td>中事業</td> <td>中事業名</td> <td>特定地域生活排水処理施設管理事業</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>業</td> <td>名</td> <td>業</td> <td>名</td> <td>業</td> </tr> </table>	会計	款	大事業	大事業名	特定地域生活排水処理施設管理事業	2	5	10	0	1	項	目	中事業	中事業名	特定地域生活排水処理施設管理事業	1	0	0	5	0	業	名	業	名	業
	会計	款	大事業	大事業名	特定地域生活排水処理施設管理事業																												
2	5	10	0	1																													
項	目	中事業	中事業名	特定地域生活排水処理施設管理事業																													
1	0	0	5	0																													
業	名	業	名	業																													
基本事業	〈043〉下水道施設の維持管理		意図	下水道に排水できるように維持管理する。																													
目的対象	下水道接続済の市民																																

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①特定地域生活排水処理施設 ②特定地域生活排水処理区域の住民 ③汚水排水	①適正に維持管理をする ②生活環境を改善する ③汚水を浄化する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・維持管理業務委託 ・処理施設の故障対応及び修繕等 ・支払関係
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・加茂町の個別排水処理施設を除く合併浄化槽3,080基(設置、寄付)の維持管理(清掃、点検、法定検査、修繕など)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・計画的な点検、清掃の実施。 ・計画的な法定検査の実施。 ・将来にわたって持続可能な下水道事業運営のため、適正な使用料を設定した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 不適正管理率	%	3.5	1.7	2.4	1.6
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費	17,999千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
役務費	13,915千円		県支出金	千円				
委託料	146,400千円		地方債	千円				
計	178,314千円		その他	千円	188,834	183,340	178,314	185,627
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	188,834	183,340	178,314	185,627

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・一部の浄化槽管理において浄化槽法に基づく浄化槽施設の維持管理をしていなかった期間があり、保健所から厳重注意を受けた。その後、保守点検・清掃を実施し報告書の数値はすべて適正值であり、浄化槽の適正稼働を確認している。 ・現在も汚水処理が適切に行われ、水環境を守っている。
② 事業実施するうえでの課題	・合併浄化槽については、1基ずつの管理となる。管理基数が多く、故障箇所等現状把握も困難が伴う。現在は、修繕・機器更新の維持管理が事後保全型となっている。 ・設置から30年以上経過したものもあり、修繕しなければならない浄化槽が増えている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・予防保全型の維持管理へシフトする。浄化槽の耐用年数を延ばすことができライフサイクルコストの縮減につながる。また、浄化槽の使用上の注意について今後も引き続き使用者にPRしていくことが必要である。 ・大東地区については、汚水処理施設整備構想の中で長期的に下水道接続を図る予定としている。 ・令和6年度までに地方公営企業法の適用を行う。 ・浄化槽管理マニュアルの作成、浄化槽管理新システムの導入等検討が必要である。